

溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料

ボウジンテックス

ワンコートライン

BOUJINTEX ONE COAT LINE

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M03150
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	https://www.toryo.or.jp



強化コンクリート専用 1回塗り区画線用塗料

鉛・クロムフリー

塗料で区画線を引くことは、簡単に美観を整え安全性や効率を上げる方法の一つです。ワンコートラインは付着力と隠ぺい力に優れるため、一般的に付着しにくい強化コンクリート面に対して直接1回で塗装できる区画線用塗料です。

耐摩耗性、耐すり傷性にも優れているため、タイヤマーク・ヒールマーク等による汚染を防止し長持ちします。



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は
規制対象外となっている

- 1 強化コンクリート面に直接塗装可能
- 2 隠ぺい性に優れるので一回塗りで仕上がる
- 3 耐摩耗性、耐すり傷性に優れ長持ち
- 4 フォークリフト等の重量物OK

用途

- 1 各種工場、倉庫等で強化コンクリート面に対し簡単に区画線を引きたい床
- 2 既存塗膜面に対し簡単に区画線を引きたい床

既存塗膜の種類によっては塗装不可のものもありますので、
詳細は適応既存塗膜をご覧ください。

※大量の水および、熱水がかかる床面には不適です。また、屋外にも使用できません。



一般工場・倉庫



運搬車両使用工場



機械工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



電気室・機械室



屋内・パーキング

性能

試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm, 60度	95以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	F
耐摩耗性 (mg/摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2、1000回転	65±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	若干白化・艶引け
耐温水性	50℃温水中に48時間浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

適応既存塗膜

- ボウジンテックス #2000
- ボウジンテックス エポワイド
- ボウジンテックス #8000
- ボウジンテックス #5000Uハードコート
- ボウジンテックス Uワイド
- ボウジンテックス タフタイトU
- ボウジンテックス マークストップ
- ボウジンテックス UコンⅡ
- 水系ボウジンテックス E

※#5000Uの上に塗装する場合は、下塗りとしてボウジンテックス強化シーラーが必要です。

荷姿

ボウジンテックス ワンコートライン・・・3kgセット(主剤2.4kg 硬化剤0.6kg)

※硬化剤は18℃以上ではS A、18℃以下ではWをご使用ください。
※硬化剤S AとWにより色相が若干異なりますのでご注意ください。

色

- ・ホワイト (N-93程度)
 - ・イエロー (22-80Vより白目)
- ※LOTが異なると色が若干変わりますのでご注意ください。

塗装工程

●強化コンクリート面、および適応既存塗膜面

1回塗OK

— トップコート(ボウジンテックス ワンコートライン)

— 下地(強化コンクリート面、適応既存塗膜面)

塗装仕様

■強化コンクリート面、および適応既存塗膜面

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	強化コンクリート表面にワックス・油分・タイヤ跡・泥等の汚れがある場合、サンドペーパー付きポリッシャーを用いて除去する。その後ゴミ、ホコリ等を丁寧に除去・清掃する。また劣化が激しく吸い込みが予想される強化コンクリートには下塗り材として強化コンクリート用プライマーⅡを使用する。クラック・不陸等がある場合は、強化コンクリート用プライマーⅡ塗装後にエポキシパテ等で充填する。									
トップコート	ボウジンテックス ワンコートライン 主剤 2.4kg 硬化剤 0.6kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.30	10	1h以内	—	—	24h以上 完全硬化2日以上

※塗付量0.3kg/m²より少ない場合、透けが発生します。また塗付量が多い場合は硬化不良や剥離に繋がりますのでご注意ください。

※塗付量は条件により増減します。

※表面強化剤などを施工したモルタル・コンクリートでは付着しない場合もございますので、あらかじめ事前テスト確認後、施工願います。

※磁器タイルにも付着しますが、磁器タイルの種類によっては付着不良が発生しますので、あらかじめ事前テスト確認後、施工願います。

※劣化した強化コンクリートでは置換発泡が発生するため、下塗りとしてボウジンテックス 強化コンクリート用プライマーⅡを塗装してください。

■強化コンクリート面が劣化している場合の下塗り材

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
下塗り	ボウジンテックス 強化コンクリート用プライマーⅡ 主剤 9kg 硬化剤 3kg	0~5% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.14※	87	1h以内	—	6h以上 48h以内	—

※標準塗付量より少ない塗付量で塗り延ばすと付着性が著しく低下しますので、塗付量は必ず守って塗装してください。

区画線幅と3kgセットでの塗装距離

5cm幅	8cm幅	10cm幅	12cm幅	15cm幅
200m	125m	100m	83m	67m

※塗付量やマスキング部へのはみだし等、条件により増減します。

硬化剤の使い分け

		気温					
		10℃	15℃	18℃	20℃	25℃	30℃
硬化剤 SA	可使時間	—	—	80分以内	70分以内	50分以内	30分以内
	軽歩行可能時間	—	—	24h以上	24h以上	20h以上	16h以上
	重量物可能時間	—	—	2日以上	2日以上	2日以上	2日以上
硬化剤 W	可使時間	60分以内	40分以内	30分以内	—	—	—
	軽歩行可能時間	24h以上	20h以上	18h以上	—	—	—
	重量物可能時間	3日以上	3日以上	2日以上	—	—	—

(硬化剤は18℃以上ではS A、17℃以下ではWをご使用ください。)

注意事項

仕様全般

- 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気につけ火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 化学物質過敏症の人は塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

- ボウジンテックス ワンコートラインで柔らかい沈殿が発生した場合、攪拌して均一な状態にしてからご使用ください。
- 主剤と硬化剤を攪拌する際には、攪拌機をご使用ください。攪拌機がない場合は、金ペラ等にて底の柔らかい沈殿物を均一にしながら、主剤と硬化剤を十分に攪拌してください。
- ボウジンテックス ワンコートラインはエポキシ樹脂塗料のため、屋外には使用できません。窓際の光や照明などでも黄変してきますのでご注意ください。
- 希釈は行わないでください。
- 主剤は1LOT指定で発注してください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。



大阪府淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・札幌・仙台

OND2507